

定期講座2019

対象：高校生以上

えひめと世界をつなぐ にほんご

受講料
無料

～多文化に向き合い ともに暮らす未来へ～



日本で暮らす外国人の数は、毎年どんどん増加しています。
これから訪れる多文化共生社会に向けて、日本語を母国語としない方々との
「日本語での交流」の重要性は、これからさらに高まると考えられています。
昨年に続き、愛媛大学 × E P I C (愛媛県国際交流協会) × J I C A がタッグを組み、
愛媛と世界をさまざまな線でつなぐ「日本語」について、全5回の定期講座を開催します！

日時 開催場所 内容

第1回

2019.
7/20 (土)
13:00~16:30

愛媛大学
愛大ミュージアム M24



『在住外国人の日本語学習について
—どうやって日本語を学んでいるの?—』

第2回

9/28 (土)
13:00~16:30

愛媛大学
愛大ミュージアム
多目的交流室 #215



『海外で行われる日本語教育のいくつかのかたち
—JICA海外協力隊と日本語パートナーズの場合—』

第3回

10/19 (土)
13:00~16:30

愛媛大学
愛大ミュージアム M24



『多文化共生をすすめるには
—海外経験の活かし方—』

第4回

12月上旬実施予定

遠方にお住いの方々に
おすすめ!

「オンライン受講」について



←このマークが
目印!

第5回

2020年1月実施予定

スマホ・タブレット・PC等があれば、インターネット回線を使用して場所を選ばず
受講が可能です。ご希望の方は、接続テスト等のため **各講座の2週間前まで** に
申込をお済ませください。(※3名以上の申込を受け付けた場合に実施します)

上記講座のほか
参加推奨事業

○留学生日本語スピーチコンテストin愛媛 2019 (聴講) @南海放送本町会館

(11/3(日)開催)

○外国人技能実習生に対する入国後講習の視察&交流会

@(公財)サンフィールド国際人材育成協会 (11月予定)

第1回～3回講座 申込方法

以下のQRコード、またはメールアドレスより必要事項をご記入ください。

QR
コード



宛先 nihongo@epic.or.jp

件名 日本語セミナー2019 申込

本文

- ①名前
- ②生年月日
- ③所属(学校や勤務先など)
- ④電話番号
- ⑤メールアドレス
- ⑥参加講座(希望の講座を記入)
- ⑦受講形態(ご来場 または オンライン)

※参加が決定された方には、受付完了のお知らせがメールで届きます。

参加確認のメールが届かない場合は、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

[注意事項]・ご記入いただいた個人情報は、本講座に係る事務手続きおよび希望者へのイベント案内以外には使用いたしません。・当日、新聞やテレビ等の取材が入る場合があります。また、当日撮影した写真をJICA四国等のホームページや機関誌、広報資料等に掲載する場合がありますので、ご了承ください。掲載に支障のある方は、担当までお知らせください。

会場マップ(愛媛大学構内マップ)



愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージアム
松山市文京町3

問い合わせ先 (公財)愛媛県国際交流協会 089-917-5678(担当:伊藤)

主催:愛媛大学国際連携推進機構 / (公財)愛媛県国際交流協会 / (独)国際協力機構 四国センター(JICA四国) 協賛:(独)国際交流基金

第1回

7/20 (土) 13:00~16:30

定員: 30名



愛媛大学 愛大ミュージアム M24

『在住外国人の日本語学習について』

— どうやって日本語を学んでいるの? —

日本で/愛媛で生活している外国人は、どんな日本語を/どこで/どのように学んでいるのでしょうか。そこにある課題は何か? そして有効なツールは? 「在住外国人の日本語」を取り巻く状況を幅広く学び、地域の多文化共生に向けたはじめの一歩をここから踏み出しましょう!

講座内容

- ① 日本の / 愛媛の在住外国人
- ② 「日本語」と「国語」の違い
- ③ 直説法体験 -外国語で外国語の授業を受けてみたら…?
- ④ 外国人とのコミュニケーションツール
「やさしい日本語」について

講師 高橋 志野 (たかはし しの)

愛媛大学国際連携推進機構国際教育支援センター 副センター長
カナダのプリティッシュ・コロンビア大学アジア学部大学院留学中に、
TA・非常勤講師として日本語教育に関わる。帰国後は、愛媛大学の留
学生対象日本語プログラムのコーディネートを担当。同大学日本語学習
支援ボランティアJ-support+システムも運営している。

講師 菅野 真紀子 (かんの まきこ)

愛媛大学国際連携推進機構国際教育支援センター 非常勤講師
トルコ国立チャナッカレオンセキズマルト大学日本語教育学科で
講師を務める。帰国後、愛媛大学で留学生に対して日本語の授業を行う
傍ら、ヒューマンアカデミー松山校で日本語教師養成を担当する。



昨年度の講座の様子



昨年度の講座の様子

第2回

9/28 (土) 13:00~16:30

定員: 30名



愛媛大学 愛大ミュージアム 多目的交流室 #215

『海外で行われる日本語教育のいくつかのかたち
-JICA海外協力隊と日本語パートナーズの場合-』

最前線で行われている「海外での日本語教育」を学べる講座です。
JICA海外協力隊経験者と国際交流基金の「日本語パートナーズ」
事業参加者が、その具体的な活動について語ります。活動に関する
個別相談コーナーでは、より詳しい情報も得られます!

講座内容

- ① JICA・国際交流基金について(事業&制度の説明)
- ② JICA海外協力隊体験談
- ③ 日本語パートナーズ体験談
- ④ 個別相談

講師 阿部 善江 (あべ よしえ)

愛媛県国際交流協会等での社会人経験を経て、日系社会青年ボラン
ティアとしてブラジルに派遣。サンパウロ州にて日系日本語学校教師
として活動。2018年6月に帰国後、JICA青年海外協力隊事務局にて中
南米4か国を担当。

講師 大上 千智 (おおうえ ちさと)

愛媛大学大学院理工学研究科学生。2018年9月より6か月間、国際交流基
金アジアセンターの主催する「日本語パートナーズ」事業に参加し、イ
ンドネシア共和国に派遣。西スマトラ州プキティンギにて現地の教員と
ともに日本語の授業を実施し、3月に帰国。



日本語学校の生徒たち
(JICA海外協力隊/ブラジル日系社会)



日本語授業中の発音練習の様子
(日本語パートナーズ/インドネシア共和国)

第3回

10/19 (土) 13:00~16:30

定員: 30名



愛媛大学 愛大ミュージアム M24

『多文化共生をすすめるには -海外経験の活かし方-』

今後さらに増加すると見込まれる外国人技能実習生。私たちと異なる
文化背景を持つ人々との共生は、何を念頭に置くべきなのでしょう
か?自身が「外国人」として過ごした経験をもつ2名の講師と一緒に、
日本における多文化共生のポイントをともに探りましょう。

講座内容

- ① 海外生活を通して得られた「文化」に対する視点
- ② 外からはじめて見えた「日本」「日本人」の側面は?
- ③ 外国人技能実習生の抱える悩み
- ④ 私たちができること/日本に住む外国人が求めること

講師 田村 美津子 (たむら みつこ)

社会人経験を経て、青年海外協力隊としてマラウイ共和国にて幼児
教育隊員として2年半間活動。帰国後、JICA四国センター所員を経
て、ヒューマンリング協同組合にて外国人技能実習生に対する入国
後講習等を担当。

講師 松下 博幸 (まつした ひろゆき)

企業等での社会人経験を経て、青年海外協力隊としてパナマ共和国
にて環境教育隊員として2年間活動。帰国後、サンフィールド国際
人材育成協会にて外国人技能実習生に対する入国後講習等を担当。



香川名物のうどん作り研修
(ヒューマンリング協同組合での入国後研修)



ウミガメ保護のための海岸清掃活動
(JICA海外協力隊/パナマ共和国での活動時)